

令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 奈良県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	五條病院	2
奈良市	市立奈良病院	3
大和高田市	大和高田市立病院	4
生駒市	生駒市立病院	5
宇陀市	宇陀市立病院	6
国保中央病院組合	国保中央病院	7
南和広域医療企業団	南奈良総合医療センター	8
南和広域医療企業団	吉野病院	9
南和広域医療企業団	五條病院	10

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		奈良県	
市町村・組合名			
病院名		五條病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,324,473	
決算規模(千円)	621,925,565	
標準財政規模(千円)	344,762,447	
財政力指数	0.41700	
経常収支比率(%)	84.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	115.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,158			
1 経常収益	1,158			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,158			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,158			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,158			
2 経常費用	1,158			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	-	-	9.0	10.4
経費	-	-	22.5	28.7
(うち委託料)	-	-	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,158			
(うち支払利息)	1,158	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	105.7
医業収支比率	-		85.1	80.6
修正医業収支比率	-		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	-		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	1,158
資本勘定繰入	-	32,997
計	-	34,155

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				奈良県	
市町村・組合名		奈良市			
病院名		市立奈良病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	29,064 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	349	75.7	78.4	86.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	1	86.0	78.6	55.5
計	350	75.8	78.4	86.5
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	10.5	10.3

設立団体の状況	
人口(人)	354,630
決算規模(千円)	151,594,071
標準財政規模(千円)	82,315,330
財政力指数	0.75
経常収支比率(%)	91.1
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.9
将来負担比率(%)	103.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,396,933			
1 経常収益	2,381,794			
(1) 医業収益	70,096			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	70,096			
(うち他会計負担金)	70,096			
(2) 医業外収益	2,311,698			
(うち国・都道府県補助金)	1,626,893			
(うち他会計補助・負担金)	421,129			
(うち長期前受金戻入)	214,983			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	15,139			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,441,988			
2 経常費用	2,440,128			
(1) 医業費用	2,323,858			
職員給与費	19,509	27.8	60.2	60.7
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	11.7
減価償却費	272,678	389.0	9.0	9.2
経費	2,031,671	2898.4	22.5	21.2
(うち委託料)	2,030,264	2896.4	12.5	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	116,270			
(うち支払利息)	528	0.8	1.2	1.3
(3) 特別損失	1,860			
損益				
経常				
純損益	-58,334			
累積欠損金	1,765,328			
経常収支比率	97.6		105.6	106.9
医業収支比率	3.0		85.1	85.8
修正医業収支比率	-		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.6		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	700.8		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	20.5		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	77.5		93.6	96.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,379,606
1 固定資産	6,388,080
(1) 有形固定資産	6,384,624
(2) 無形固定資産	3,456
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	991,526
(1) 現金及び預金	86,322
(2) 未収金及び未収収益	906,272
(3) 貸倒引当金()	1,068
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,840,450
1 固定負債	3,616,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,614,469
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	1,975
2 流動負債	1,137,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	182,818
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	1,481
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	944,527
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,086,575
(1) 長期前受金	3,244,087
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,157,512
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	539,156
1 資本金	1,353
2 剰余金	537,803
(1) 資本金剰余金	2,303,131
(2) 利益剰余金	-1,765,328
負債・資本合計	7,379,606
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	492,066	491,225
資本勘定繰入	91,387	48,862
計	583,453	540,087

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2518.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				奈良県	
市町村・組合名	大和高田市				
病院名	大和高田市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,530 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	320	73.5	69.3	77.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	320	73.5	69.3	77.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	10.7	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	61,744	
決算規模(千円)	30,909,488	
標準財政規模(千円)	15,920,839	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	38.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,703,293			
1 経常収益	8,702,744			
(1) 医業収益	7,424,197			
(うち修正医業収益)	7,253,728			
入院収益	4,598,106			
外来収益	2,423,500			
診療収入計	7,021,606			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	402,591			
(うち他会計負担金)	170,469			
(2) 医業外収益	1,278,547			
(うち国・都道府県補助金)	923,591			
(うち他会計補助・負担金)	209,895			
(うち長期前受金戻入)	17,667			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	549			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,175,212			
2 経常費用	8,165,106			
(1) 医業費用	7,709,775			
職員給与費	4,527,551	61.0	60.2	60.7
材料費	1,461,483	19.7	25.3	24.9
(うち薬品費)	821,516	11.1	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	596,299	8.0	11.6	11.7
減価償却費	411,872	5.5	9.0	9.2
経費	1,297,908	17.5	22.5	21.2
(うち委託料)	852,832	11.5	12.5	11.9
研究研修費	7,811			
資産減耗費	3,150			
(2) 医業外費用	455,331			
(うち支払利息)	48,866	0.7	1.2	1.3
(3) 特別損失	10,106			
損益	537,638			
純損益	528,081			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.6		105.6	106.9
医業収支比率	96.3		85.1	85.8
修正医業収支比率	94.1		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	4.4		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	5.1		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	4.4		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	101.9		93.6	96.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,984,634
1 固定資産	4,787,160
(1) 有形固定資産	4,694,235
(2) 無形固定資産	1,823
(3) 投資その他の資産	91,102
2 流動資産	2,197,474
(1) 現金及び預金	624,484
(2) 未収金及び未収収益	1,549,755
(3) 貸倒引当金()	8,622
(4) 貯蔵品	31,857
3 繰延資産	-
負債合計	5,711,187
1 固定負債	3,827,868
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,610,746
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,217,122
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,531,080
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	565,855
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	271,266
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	683,767
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	352,239
(1) 長期前受金	639,600
(2) 長期前受金収益化累計額()	287,361
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,273,447
1 資本金	521,267
2 剰余金	752,180
(1) 資本金剰余金	224,099
(2) 利益剰余金	528,081
負債・資本合計	6,984,634
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	544,058	380,364
資本勘定繰入	313,667	201,361
計	857,725	581,725

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				奈良県	
市町村・組合名	生駒市				
病院名	生駒市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,094 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	210	50.8	51.3	55.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	210	50.8	51.3	55.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	14.5	16.1

設立団体の状況	
人口(人)	116,675
決算規模(千円)	43,291,233
標準財政規模(千円)	24,965,254
財政力指数	0.79
経常収支比率(%)	84.4
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 3.9 -

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,119,541			
1 経常収益	2,119,541			
(1) 医業収益	79,087			
(うち修正医業収益)	10,803			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	79,087			
(うち他会計負担金)	68,284			
(2) 医業外収益	2,040,454			
(うち国・都道府県補助金)	1,552,895			
(うち他会計補助・負担金)	148,897			
(うち長期前受金戻入)	96,812			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,037,279			
2 経常費用	2,037,279			
(1) 医業費用	2,020,939			
職員給与費	11,097	14.0	60.2	64.0
材料費	-	-	25.3	19.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.6
減価償却費	386,336	488.5	9.0	9.9
経費	1,623,506	2052.8	22.5	28.4
(うち委託料)	11,285	14.3	12.5	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	16,340			
(うち支払利息)	9,550	12.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	82,262			
純損益	82,262			
累積欠損金	896,855			
経常収支比率	104.0		105.6	104.2
医業収支比率	3.9		85.1	81.4
修正医業収支比率	0.5		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	10.2		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	274.6		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	10.2		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	93.4		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,842,145
1 固定資産	5,975,746
(1) 有形固定資産	5,970,558
(2) 無形固定資産	5,188
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	866,399
(1) 現金及び預金	83,817
(2) 未収金及び未収収益	782,582
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,539,000
1 固定負債	4,853,514
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,649,111
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	3,052,324
(5) その他の長期借入金	152,079
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	1,797,817
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	982,342
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,303
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	813,972
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	887,669
(1) 長期前受金	1,534,216
(2) 長期前受金収益化累計額()	646,547
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-696,855
1 資本金	200,000
2 剰余金	-896,855
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-896,855
負債・資本合計	6,842,145
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	696,855
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	83,768	217,181
資本勘定繰入	492,604	248,090
計	576,372	465,271

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1134.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				奈良県	
市町村・組合名	宇陀市				
病院名	宇陀市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	32,498 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	176	63.5	72.9	81.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	176	63.5	72.9	81.4
平均在院日数(一般病床のみ)		22.9	22.9	23.6

設立団体の状況	
人口(人)	28,121
決算規模(千円)	19,318,292
標準財政規模(千円)	11,585,825
財政力指数	0.28
経常収支比率(%)	92.8
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	12.7
将来負担比率(%)	86.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,364,769			
1 経常収益	4,364,769			
(1) 医業収益	2,932,709			
(うち修正医業収益)	2,883,123			
入院収益	1,791,558			
外来収益	984,762			
診療収入計	2,776,320			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	156,389			
(うち他会計負担金)	49,586			
(2) 医業外収益	1,432,060			
(うち国・都道府県補助金)	964,668			
(うち他会計補助・負担金)	220,700			
(うち長期前受金戻入)	24,840			
(うち資本費繰入収益)	178,562			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,788,933			
2 経常費用	3,788,644			
(1) 医業費用	3,635,175			
職員給与費	1,867,111	63.7	60.2	66.7
材料費	512,001	17.5	25.3	17.8
(うち薬品費)	179,757	6.1	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	332,223	11.3	11.6	9.2
減価償却費	320,909	10.9	9.0	10.4
経費	925,969	31.6	22.5	28.7
(うち委託料)	395,711	13.5	12.5	13.3
研究研修費	5,600			
資産減耗費	3,585			
(2) 医業外費用	153,469			
(うち支払利息)	37,616	1.3	1.2	1.3
(3) 特別損失	289			
損益				
経常損益	576,125			
純損益	575,836			
累積欠損金	2,465,722			
経常収支比率	115.2		105.6	105.7
医業収支比率	80.7		85.1	80.6
修正医業収支比率	79.3		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.2		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	9.2		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	6.2		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	108.1		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,291,587
1 固定資産	3,715,495
(1) 有形固定資産	3,674,703
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	40,792
2 流動資産	1,576,092
(1) 現金及び預金	640,445
(2) 未収金及び未収収益	932,518
(3) 貸倒引当金()	840
(4) 貯蔵品	3,969
3 繰延資産	-
負債合計	3,871,800
1 固定負債	2,703,091
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,397,091
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	306,000
(7) 一時的債務	-
2 流動負債	728,109
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	281,017
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	133,870
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	306,716
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	440,600
(1) 長期前受金	772,970
(2) 長期前受金収益化累計額()	332,370
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,419,787
1 資本金	3,591,827
2 剰余金	-2,172,040
(1) 資本金剰余金	293,682
(2) 利益剰余金	-2,465,722
負債・資本合計	5,291,587
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	299,285	270,286
資本勘定繰入	148,834	194,562
計	448,119	464,848

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	84.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				奈良県	
市町村・組合名	国保中央病院組合				
病院名	国保中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,249 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	220	51.4	53.8	62.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	51.4	53.8	62.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	15.3	17.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,310,499			
1 経常収益	4,310,499			
(1) 医業収益	2,688,753			
(うち修正医業収益)	2,616,935			
入院収益	1,779,526			
外来収益	720,998			
診療収入計	2,500,524			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	188,229			
(うち他会計負担金)	71,818			
(2) 医業外収益	1,621,746			
(うち国・都道府県補助金)	1,277,061			
(うち他会計補助・負担金)	247,260			
(うち長期前受金戻入)	75,965			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,293,903			
2 経常費用	3,291,129			
(1) 医業費用	3,169,781			
職員給与費	2,062,339	76.7	60.2	64.0
材料費	412,598	15.3	25.3	19.9
(うち薬品費)	205,939	7.7	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	185,147	6.9	11.6	9.6
減価償却費	195,098	7.3	9.0	9.9
経費	487,758	18.1	22.5	28.4
(うち委託料)	285,177	10.6	12.5	13.7
研究研修費	6,122			
資産減耗費	5,866			
(2) 医業外費用	121,348			
(うち支払利息)	22,969	0.9	1.2	1.3
(3) 特別損失	2,774			
損益	1,019,370			
純損益	1,016,596			
累積欠損金	-			
経常収支比率	131.0		105.6	104.2
医業収支比率	84.8		85.1	81.4
修正医業収支比率	82.6		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	11.9		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	7.4		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	121.3		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,930,174
1 固定資産	3,005,033
(1) 有形固定資産	2,998,534
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	6,499
2 流動資産	3,925,141
(1) 現金及び預金	2,892,425
(2) 未収金及び未収収益	1,035,798
(3) 貸倒引当金()	3,082
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,255,273
1 固定負債	1,707,885
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	720,925
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	986,960
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	716,610
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	321,675
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	195,434
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	179,322
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	830,778
(1) 長期前受金	1,379,956
(2) 長期前受金収益化累計額()	549,178
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,674,901
1 資本金	852,404
2 剰余金	2,822,497
(1) 資本金剰余金	476,722
(2) 利益剰余金	2,345,775
負債・資本合計	6,930,174
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	338,272	319,078
資本勘定繰入	183,930	106,053
計	522,202	425,131

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 奈良県
市町村・組合名	南和広域医療企業団			
病院名	南奈良総合医療センター			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院		
建物面積	22,396 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当	
診療科数	26	指定病院の状況	救臨感へ災地輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	200床以上～300床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	228	83.7	88.6	97.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	36.6	36.7	42.1
計	232	82.9	87.7	97.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.5	12.5	13.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,234,564			
1 経常収益	10,234,564			
(1) 医業収益	6,910,112			
(うち修正医業収益)	6,699,422			
入院収益	4,133,713			
外来収益	2,193,514			
診療収入計	6,327,227			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	582,885			
(うち他会計負担金)	210,690			
(2) 医業外収益	3,324,452			
(うち国・都道府県補助金)	1,380,260			
(うち他会計補助・負担金)	404,612			
(うち長期前受金戻入)	1,217,635			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,913,577			
2 経常費用	8,913,577			
(1) 医業費用	8,439,531			
職員給与費	4,598,890	66.6	60.2	64.0
材料費	1,420,583	20.6	25.3	19.9
(うち薬品費)	630,647	9.1	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	789,843	11.4	11.6	9.6
減価償却費	835,076	12.1	9.0	9.9
経費	1,573,527	22.8	22.5	28.4
(うち委託料)	1,086,770	15.7	12.5	13.7
研究研修費	11,455			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	474,046			
(うち支払利息)	28,243	0.4	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	1,320,987			
純損益	1,320,987			
累積欠損金	-			
経常収支比率	114.8		105.6	104.2
医業収支比率	81.9		85.1	81.4
修正医業収支比率	79.4		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	6.0		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	6.0		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	107.9		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,919,549
1 固定資産	11,227,671
(1) 有形固定資産	11,170,203
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	57,468
2 流動資産	4,691,878
(1) 現金及び預金	2,156,298
(2) 未収金及び未収収益	2,475,605
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	59,729
3 繰延資産	-
負債合計	12,585,958
1 固定負債	6,009,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,441,449
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	272,250
(6) 引当金	1,295,418
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,654,440
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	219,362
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	53,772
(5) 引当金	369,054
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	943,226
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,922,401
(1) 長期前受金	13,553,100
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,630,699
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,333,591
1 資本金	1,000,000
2 剰余金	2,333,591
(1) 資本金剰余金	1,370,037
(2) 利益剰余金	963,554
負債・資本合計	15,919,549
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	553,053	615,302
資本勘定繰入	368,593	416,143
計	921,646	1,031,445

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				奈良県	
市町村・組合名	南和広域医療企業団				
病院名	吉野病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,843 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	50	84.2	82.7	85.8
療養	46	92.5	93.5	91.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	96	88.2	87.8	88.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	19.7	19.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,289,785			
1 経常収益	1,289,785			
(1) 医業収益	944,311			
(うち修正医業収益)	901,149			
入院収益	680,045			
外来収益	178,866			
診療収入計	858,911			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	85,400			
(うち他会計負担金)	43,162			
(2) 医業外収益	345,474			
(うち国・都道府県補助金)	5,322			
(うち他会計補助・負担金)	144,478			
(うち長期前受金戻入)	114,238			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,067,929			
2 経常費用	1,067,912			
(1) 医業費用	1,035,824			
職員給与費	623,786	66.1	60.2	76.8
材料費	79,047	8.4	25.3	14.4
(うち薬品費)	36,207	3.8	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	42,840	4.5	11.6	6.0
減価償却費	55,509	5.9	9.0	11.4
経費	277,424	29.4	22.5	31.5
(うち委託料)	176,572	18.7	12.5	14.5
研究研修費	58			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	32,088			
(うち支払利息)	-	-	1.2	1.4
(3) 特別損失	17			
損益	221,873			
純損益	221,856			
累積欠損金	-			
経常収支比率	120.8		105.6	103.4
医業収支比率	91.2		85.1	74.3
修正医業収支比率	87.0		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	14.5		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	19.9		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	14.5		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	103.2		93.6	79.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,919,549
1 固定資産	11,227,671
(1) 有形固定資産	11,170,203
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	57,468
2 流動資産	4,691,878
(1) 現金及び預金	2,156,298
(2) 未収金及び未収収益	2,475,605
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	59,729
3 繰延資産	-
負債合計	12,585,958
1 固定負債	6,009,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,441,449
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	272,250
(6) 引当金	1,295,418
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	1,654,440
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	219,362
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	53,772
(5) 引当金	369,054
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	943,226
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,922,401
(1) 長期前受金	13,553,100
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,630,699
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,333,591
1 資本金	1,000,000
2 剰余金	2,333,591
(1) 資本金剰余金	1,370,037
(2) 利益剰余金	963,554
負債・資本合計	15,919,549
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	149,104	187,640
資本勘定繰入	14,872	-
計	163,976	187,640

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				奈良県	
市町村・組合名	南和広域医療企業団				
病院名	五條病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,366 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	45	86.6	85.6	89.4
療養	45	54.0	55.9	53.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	70.3	70.7	71.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.1	20.5	17.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,346,220			
1 経常収益	1,346,220			
(1) 医業収益	715,977			
(うち修正医業収益)	685,125			
入院収益	538,962			
外来収益	123,608			
診療収入計	662,570			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	53,407			
(うち他会計負担金)	30,852			
(2) 医業外収益	630,243			
(うち国・都道府県補助金)	5,805			
(うち他会計補助・負担金)	109,738			
(うち長期前受金戻入)	455,078			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	968,247			
2 経常費用	968,247			
(1) 医業費用	937,179			
職員給与費	470,425	65.7	60.2	76.8
材料費	63,872	8.9	25.3	14.4
(うち薬品費)	32,535	4.5	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,333	4.4	11.6	6.0
減価償却費	182,447	25.5	9.0	11.4
経費	220,396	30.8	22.5	31.5
(うち委託料)	153,200	21.4	12.5	14.5
研究研修費	39			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	31,068			
(うち支払利息)	-	-	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
損益	377,973			
純損益	377,973			
累積欠損金	126,984			
経常収支比率	139.0		105.6	103.4
医業収支比率	76.4		85.1	74.3
修正医業収支比率	73.1		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	19.6		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	10.4		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	124.5		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,919,549
1 固定資産	11,227,671
(1) 有形固定資産	11,170,203
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	57,468
2 流動資産	4,691,878
(1) 現金及び預金	2,156,298
(2) 未収金及び未収収益	2,475,605
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	59,729
3 繰延資産	-
負債合計	12,585,958
1 固定負債	6,009,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,441,449
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	272,250
(6) 引当金	1,295,418
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,654,440
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	219,362
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	53,772
(5) 引当金	369,054
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	943,226
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,922,401
(1) 長期前受金	13,553,100
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,630,699
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,333,591
1 資本金	1,000,000
2 剰余金	2,333,591
(1) 資本金剰余金	1,370,037
(2) 利益剰余金	963,554
負債・資本合計	15,919,549
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	113,764	140,590
資本勘定繰入	14,640	-
計	128,404	140,590

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。